

かわいい畑

2017年3月作柄もよう



- 今月も、かわいい畑を見守ってくださり、ありがとうございました。
- 作業報告と、育成状況などを折々、かわいい畑ブログ
<<http://blog.livedoor.jp/akiharukane/>>でも報告しております。

👉 3/30全景



春。江戸からつづく、花実の季節

鳥が新芽を食べ荒らすので、覆いをかけた状態で江戸東京野菜を見ていただいています

しんとり菜に、花が咲きました
亀戸大根や品川カブも、花芽をつけました

江戸時代から続く野菜たちが
かわいい畑で種をつくっています

👉 2/25全景



かわいい畑の作物たち



👉 千住一本ネギ

江戸が徳川家康に開かれたころに、開墾された畑に根付いたのが「ネギ」。千住で根付いた、関西生まれの江戸育ちのネギです。

👉 シントリ菜

唐菜(唐人菜)、ちりめん白菜などと呼ばれた野菜。昭和40年(1965)代になり江戸川区、葛飾区、足立区で盛んに作られました。



👉 ノラボウ菜

江戸時代初期にはすでに西多摩地方でも栽培されていました。西多摩地方ではこの食用なばなを「のらぼう」または「のらぼう菜」と呼んでいました。耐寒性に優れ、天明の大飢饉(1782年 - 1788年)及び天保の大飢饉(1833年 - 1839年)の際に人々を飢餓から救ったという野菜です。

👉 品川カブ

大正時代まで多摩地区、小平周辺で「東京長カブ」という名前で売り買いされていました。姿がかわいいカブです。



👉 亀戸大根

文久年間(1860~1864)の頃から昭和初期まで、亀戸香取神社周辺で栽培されていました。

